



たて やま ひろ し
建山 裕志

豊明営業所 作業班長

建山裕志さんは、2004年(平成16年)に南星キャリアックス株式会社へ中途入社。現在は豊明営業所で作業班長として活躍中です。ASP出張所は、エーエスペイント株式会社から委託された業務を遂行するために立ち上がった営業所。当初は両社の社員が立ち入る独特の環境からのスタートでした。顧客との良好な関係を築くための心がけなどを中心に、お話を伺いました。

— 入社のきっかけを教えてください。

前職は、長距離トラックの運転手として、主に関東、北陸、および四国地方を担当していました。物流を滞らせないために必要不可欠な職業ですが、本当に大変な仕事を経験したと思っています。トラックに乗れば必ず1泊する形になり、トラック内の横になれるス

ペースで身体を休めなければなりません。私の場合、月の半分はトラック内で寝泊まりしていましたね。高速道路が今ほど発達していなかった当時は、必然的に交通量の少ない時間帯を狙って夜中に一般道を走るのが当たり前となっていたのです。

そのようにハードで不規則な業務を続けていましたが、子どもができたのを機に退職を決意しました。家族に何かあった時、そばにいられないのは辛いと考えたからです。そして転職活動中に出会ったのが、南星キャリアックスです。私はエーエスペイントの構内作業員として知立営業所に入りました。それまでエーエスペイントが社内でもかかってきた構内作業を、南星キャリアックスへ業務委託することになり、作業員の募集をかけていたのです。

ことが、今の私の仕事でもあると考えているのです。

— 今後の目標を教えてください。

物流業界は離職率が高いので、仲間たちが継続して楽しく働ける環境を作るのが目標です。私が17年間勤務を続けられている理由は2つあり、1つは大変な経験によって得た困難を乗り越える力。もう1つは、仲間たちの支えです。今後は支えてもらうだけではなく、私のポリシーである笑顔によって仲間たちを支えていきたいと思っています。

常に相手の立場になり、物事を考える建山さん。コミュニケーションを大切にし、笑顔溢れる職場にするべく努める姿は、人々の心を動かすに違いありません。

— 顧客と密接に仕事をするという環境で、苦勞などはありましたか。

今でこそ構内作業はすべて南星キャリアックスの社員が担当していますが、ASP出張所立ち上げ当時は、従業員の半数がエーエスペイントの方たちという環境でした。やはり「お客様」という立場を念頭に置いて動かなければいけません。「他の運送会社ではなく、南星

キャリアックスに仕事を依頼したい」と思っていたただために、お客様のご要望に応えるだけではなく、いかに付加価値を提供できるかが重要になってきます。そこで必要となるのが情報収集です。お客様とコミュニケーションを密に取って、求められている情報を得る。そして、それ以上の仕事をし、私たちの価値を上げていけるよう努力しました。幸いにも、エーエスペイントに



— 建山さんならではの付加価値とは何でしょうか。

笑顔です。他人と関わる以上、少しでもお互いに楽しい時間を持てたら良いと考えています。人間は1人の例外もなく、皆平等に1日24時間が与えられています。そのような中で、1分1秒でも心が和む時間を作り出すのが私のポリシー。職場においても笑顔が増えれば「今日も頑張ろう!」となります。そのような職場環境を作る